

# 第11回 医学教育国際協力研究フォーラム

日時：2011年6月28日(火)14:00～17:15  
場所：本郷キャンパス医学図書館3階333会議室

## アフガニスタンの医師養成と保健システム

アフガニスタンでは、長期に及んだ内戦の結果、今なお多くの地域で劣悪な保健医療状況が続いています。2002年に東京で行われたアフガニスタン復興支援国際会議において、日本政府が復興支援を行うことを表明して以来、当センターは、文部科学省や JICA と協力しながら、アフガニスタンに対する医学教育の支援に取り組んできました。2009年には、日本政府は向こう5年間で最大50億ドルの支援を行うことを表明し、さらなる支援の強化が期待されています。

今回のフォーラムでは、アフガニスタンにおいて医師養成の主導的役割を担ってきたカブール医科大学教育開発センター長や日本の地域医療の最前線でも活躍するアフガニスタン医師レシャード・カレド先生をお招きして、アフガニスタンの医師養成や保健システムの特徴や課題について学ぶとともに、今後の展望について議論したいと思えます。

(参加費:無料、使用言語:英語)

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 14:00～14:05            | 開会の挨拶  |
| 14:05～14:10            | 文部科学省挨拶  |
| <b>第一部 講演</b>          |  |
| 14:10～14:30            | 国際協力機構(JICA)人間開発部保健第二グループ保健第四課 稲垣良隆 氏<br>「アフガニスタンの保健人材育成に関する JICA の方針と取り組み」          |
| 14:30～15:00            | カブール医科大学 教育開発センター Fawad Pirzad センター長<br>「カブール医科大学での医学教育改革:この10年を振り返って」               |
| 15:00～15:30            | 東京大学医学教育国際協力研究センター 足立拓也客員研究員<br>「アフガニスタン国医学教育プロジェクトおよびフォローアップ協力」                     |
| 15:30～16:00            | 東京大学医学教育国際協力研究センター 大西弘高講師<br>「アフガニスタンでの保健人材育成の今後」                                    |
| 16:00～16:10            | 休憩   |
| <b>第二部 パネルディスカッション</b> |  |
| 16:10～17:10            | 特別発言 医療法人社団健社会レシャード医院 Khaled Reshad 院長<br>パネリスト Fawad Pirzad、Khaled Reshad、足立拓也、大西弘高 |
| 17:10～17:15            | 閉会の挨拶  |
| 17:30～18:30            | 懇談会(本郷キャンパス山上会館、軽食&飲み物、参加費無料)  |

参加をご希望の方は、**6月22日(水)までに**、  
①氏名、②所属先、③住所、④電話番号、⑤メールアドレス⑥懇親会の出欠を、右記 E-mail アドレスへお知らせ下さい。

主催：東京大学医学教育国際協力研究センター  
後援：文部科学省、国際協力機構(JICA)(予定)

◆◆◆ 問い合わせ先 ◆◆◆

東京大学医学教育国際協力研究センター  
東京都文京区本郷7-3-1 医学図書館2階  
Tel: 03-5841-1422、Fax: 03-5841-0254  
E-mail: [ircme-pc@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:ircme-pc@m.u-tokyo.ac.jp)  
<http://www.ircme.u-tokyo.ac.jp>